

讃美歌	333
信仰告白	ウェストミンスター信仰告白15:4、17:1~3
聖書	哀歌3章(p1288)
祈禱	
奨励	「暗闇のただ中にある契約の希望」
祈禱	
讃美歌	454
懇談	
祈禱会	
主の祈り	

ウェストミンスター信仰告白第15章 命にいたる悔い改めについて

4. 裁きに値しないほど小さな罪が存在しないのと同様に、真実に悔い改める者に裁きをもたらさうほど大きな罪も存在しない。

ウェストミンスター信仰告白 第17章 聖徒の堅忍について

1. 神がその愛する御子において受け入れ、自らの霊によって有効に召命し、聖とした人々は、恵みの状態から全面的に落ちてしまうことも、最終的に落ちてしまうこともありえず、かえって、最後まで恵みの状態の中に確実に堅忍し、永遠に救われる。
2. この聖徒の堅忍は、かれら自身の自由意志に基づくのではなく、〔第一に〕父なる神の自由で変わらない愛から出てくる、選びの聖定の不変性と、〔第二に〕イエス・キリストの功績と執り成しの有効性、〔第三に〕御霊と神の種のかれらへの内住、および、〔第四に〕恵みの契約の性質、に基づく。これらすべてから、また、聖徒の堅忍の確実性と無謬性が生じる。
3. それにもかかわらず、聖徒たちは、サタンと世のさまざまな誘惑、かれらの内に残っている腐敗の勢い、かれらを保護してくれる手段を無視すること、によって、ひどい罪に陥り、しばらくの間その中に留まり続けることがある。それによってかれらは、神の不興を招き、神の聖霊を悲しませ、自分たちに与えられている恵みの賜物と慰めをある程度取り去られるにいたり、その心は頑なにされ、良心は傷つけられ、他の人々を損ない、躓かせ、自分たちに一時的な裁きを招く。